

# 自閉症・発達障害特性シート WSO01

日付：	2018 / ● / ●	氏名：Nさん (30 歳)	記入者：水野
特 性	本人の行動や特性	指導・支援の概要	
コミュニケーションの特性・社会性	<b>受容コミュニケーションの特性</b> 言語指示の理解の困難さ、字義どおり理解する、言語指示を整理してつかむことができないなど	「ここ」「そこ」などの抽象的な言語指示の理解が難しい。曖昧な指示よりも印などの視覚的な情報が理解でき、引っ張られる。	絵や1対1で対応する指示などで視覚的に指示する。言語指示を補助する境界線や完成イメージを視覚的に提示する（個人情報シート参照）。
	<b>表出コミュニケーションの特性</b> 無言語、エコラリア*、声の調子やリズム、意思交換の困難さなど		
	<b>社会性・対人関係の特性</b> 一人にいることを好む、アイコンタクトやジョイントアテンション*、セオリ・オフ・マインド*の困難さ、自発的にかかわりをもつことの困難さなど		
全体よりも細部に注目する特性	<b>転導性・衝動性</b> <b>注意・注目の特性</b> 転導的・衝動的な行動、切り替えの困難さ注目することの困難さなど	周囲の状況よりも印や角などに引っ張られる。	活動や物の配置などは、印や絵などを活用して視覚的に指示する。
	<b>時間の整理統合の特性</b> 日程の計画や調整、活動や手順の調整、実行機能の困難さなど		
	<b>空間の整理統合の特性</b> 自分の位置や材料や道具の位置の調整、1つの場所の多目的利用の困難さなど	基準が無い状態で、状況にあわせて材料や道具などを配置したり、調整したりすることが難しい。基準が無いと机の角など自分で基準を作ることがある。	材料や道具の置く場所を容器や印、絵などで指示する。
	<b>変化の対応の特性</b> 場所、物、人、予定、習慣の変化の不安・抵抗、強迫的な行動、ルーティンの必要性など	物の配置など、状況が変わることに混乱して、変わらない基準を作ってそれを保持しようとする。	変化があるものも、わかりやすく基準をつくり、印や絵などで指示する。計画的に変更する機会をつくる。
	<b>関係理解の困難さ</b> 関連づけしすぎ、関連づけが難しい、自己流の解釈、字義どおりの解釈、絵などを具体的にとりすぎる		
	<b>一般化の特性</b> 習得したスキルや人や物への対応を他の場面、違う文脈で状態が変わる。材料・場面・指導者が変わったときに課題を遂行できないなど		
記憶の特性	<b>記憶の維持の特性</b> 短期記憶・作業記憶*などの維持の困難さなど		
	<b>長期記憶の特性</b> 長期に脳に維持される記憶、経験した記憶が消せない特性など		
<b>感覚の特異性</b> 視覚刺激、聴覚刺激、味覚刺激、嗅覚刺激、触覚刺激などによる反応、または鋭敏さ、鈍感さ			
<b>微細運動・粗大運動</b> 手と目の供給の困難さ、手先の不器用さ、緊張のある動き、柔軟さのない体全体の動きなど			
<b>その他の特性</b> 感情のコントロール、 等			
<b>理解に関する特性</b> (何を見て理解できるか)			

※シートの記入方法に関しては書籍『フレームワークを活用した自閉症支援』(14~17頁)を参考にしてください。 検索「自閉症 フレームワーク」